

令和7年度 自己点検・評価シート

基準6 教員・教員組織

	評価項目	評価の視点	担当責任者	担当部局	自己評価委員会 評価結果
①	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学として求める教員像や教員組織の編制方針に基づき、教員組織を編制しているか。 ※具体的な例 ・教員が担う責任の明確性。 ・法令で必要とされる数の充足。 ・科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成。 ・各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理。 ・複数学部等の基幹教員を兼ねる者について、業務状況や教育効果の面での適切性。 	橋本副学長	人事部 各学部・研究科	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・クロスアポイントメントなどによって、他大学又は企業等の人材を教員として任用する場合は、教員の業務範囲を明確に定め、また、業務状況を適切に把握しているか。 		人事部	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。 		人事部	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業において指導補助者に補助又は授業の一部を担当させる場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。 		人事部	指導補助者に対する研修が未実施の場合、是正勧告または改善課題として指摘される可能性があり、対応は必須である。
②	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。 	橋本副学長	人事部	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。 		人事部 各学部・研究科	○
③	教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につながる組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。※大学院FD 	橋本副学長	全学教育センター 各学部・研究科	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 		研究推進センター 社会連携推進センター	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し、教育活動、研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。 		人事部	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・教員以外が指導補助者となって教育に関わる場合、必要な研修を行い、授業の運営等が適切になされるよう図っているか。 		人事部	①と同じ
④	教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。 	橋本副学長	人事部 各学部・研究科	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。 		人事部 各学部・研究科	○